

平成 27 年 11 月 24 日

第 7 回 運輸安全マネジメント評価の結果について

平成 27 年 11 月 4 日（水）～ 6 日（金）の 3 日間、国土交通省による「第 7 回運輸安全マネジメント評価」が実施されました。

本年度は、自動車モードが評価対象となり、安全管理体制の構築に関する取組みを評価対象として実施されました。

自動車モードの総評として、安全管理体制の構築及び改善に関する取組みについては、経営トップをはじめ社員が一丸となって安全の確保に取り組んでおり、以下に掲げる項目については、見直し・改善がなされており、評価されました。

1. 評価された取組み

- ① 現場とのコミュニケーションを通じた安全意識の定着に向けた取組みや現場の課題の把握、今後想定される事故のリスクに対して必要な措置を講じる等、経営トップが輸送の安全確保に向けて積極的に関与していること
- ② 安全監理官を有効に活用した取組みが、本社と現場との円滑なコミュニケーションの確保に寄与していること
- ③ 自社の教育・訓練体制における強化すべき対象・内容等を的確に把握し、新たな研修を実施するとともに、その効果を把握しており、自社における教育・訓練の充実・強化を図っていること

一方、安全文化の構築と定着を図り、安全性を段階的に向上させるためには安全管理体制の継続的な改善及び不断の取組みが不可欠であることから、引き続き、経営トップが主体的にかつ積極的に関与するとともに、以下に掲げる項目について、更なる取組みを講じることについて助言されました。

2. 更なる期待を望む取組み

- ・ 当社において取り纏めている「事故統計表」の更なる活用

以 上